

会津山中央病院病院長)をお招きし、「地域基幹病院における働き方改革の取り組み」と題して、同病院にて取り組まれた働き方改革への取り組みやその工夫について、医療機関の働き方をマネジメントするための大変貴重なお話をいただきました。

加えまして、一般演題は27題のご発表をいただき、これまでの学術集会と同様、熱心な発表やその後の質疑応答、そして特別講演が、明日からの医療の現場で直ぐに役立つような実践的な課題・工夫を提起してくれるものとなりました。

また、今回は約100名の参加をいただき、盛会のうちに終了することができました。開催にあたり、ご支援ご協力を賜りました皆様に心より御礼申し上げます。

第23回千葉県支部学術集会

学術集会会長：成田赤十字病院病院長
青埴信之

2025年3月8日(土)にホテルポートプラザちばにおいて第23回日本医療マネジメント学会千葉県支部学術集会を開催し千葉県内の病院から95名の参加をいただきました。テーマは次世代医療人の育成～人材定着を目指した病院の取り組み～として2040年問題への課題を取り上げました。そのテーマに沿い特別講演1として臨床倫理の課題として宮崎大学 板井 孝彦先生に、卒後における「臨床倫理」教育の現状と課題－「隠れたカリキュラム」の影響を中心に－と題した講演をいただきました。特別講演2として学習する組織の課題として大阪公立大学の山口(中上)悦子先生に心理的安全性の理解と実践～学習する組織を育てるために～と題した講演をいただきました。

また要望演題、並びに一般演題に計11題の応募をいただきました。

いずれの演題も活発なディスカッションが行われ有意義な会となりました。

開催にあたり多大なご支援とご協力を賜りました関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

第24回神奈川県支部学術集会

学術集会会長：昭和大学藤が丘病院院長
高橋 寛

日本医療マネジメント学会第24回神奈川県支部学術集会は2025年3月8日(土)に横浜市開港記念会館にて開催いたしました。2024年の医療体制の改革より一年を経て、医療の現場ではどのように医療改革が行われたかを検証することは意義のあることと考えて学術集会のメインテーマは「医療改革はどこまで達成できた

か？」としました。学術集会は190名の参加でした。演題発表は、一般演題は59演題の発表があり、病院運営に関わる諸問題につき活発な質疑応答がなされました。特別講演は日本航空株式会社航空安全推進部長の松田紀男氏による「JALグループにおける安全の層を厚くする取り組みについて」の講演がありました。シンポジウムは「医療改革はどこまで達成できたか」というテーマで各病院の取り組みについて有意義な討議が行われました。ランチョンセミナーは横浜栄共済病院の山田昌代先生および北里大学病院の林 哲範先生による「糖尿病診療連携から広がる連携のあれこれ」について、アフタヌーンセミナーは「アセスメント力向上セミナー 心電図編」が行われました。学術集会は盛会裏に終了することが出来ました。学術集会の開催に当たり様々なご協力をいただき感謝いたします。



会場風景

第23回福井県支部学術集会

学術集会会長：福井県済生会病院内科副部長
上田晃之

2025年3月8日(土)福井県済生会病院東館3階大研修室にて学術集会テーマを「医療機関における人材育成と業務効率化～コミュニケーションからIoT活用まで～」として開催致しました。

特別講演では社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院理事長補佐 神野正隆先生を講師として迎え、「DX&DATAを活用した人材育成と業務効率化、働き方改革」の内容でご講演いただき、AIやRPAの活用事例や膨大なデータを一元管理した全部署の可視化、フィードバックによる全職員の自律的な改善活動の推進、人材育成教育等について熱量のあるご講演を賜りました。またシンポジウムでは「各施設における人材育成と業務効率化の実践」のテーマで3名の先生より発表いただき、その後、神野先生を交えた活発な総合討議が行われ参加者38名にとって有意義な時間になりました。

本学術集会がこれからの福井県内の医療の質の向上に何らかの形で貢献できることを期待します。開催に